

日本公衆衛生学会 COI開示

発表者名：平本恵子

演題発表に関連し、発表者らに開示すべき
COI関係にある企業などはありません。



臨床医から社会医学系専門医へ

行政7年目で見えてきた新しい世界、新しい自分

広島市南保健センター
平本恵子



contents

01

公衆衛生医師を選んだ理由

02

ひろしま社会医学系
専門医プログラムの特徴

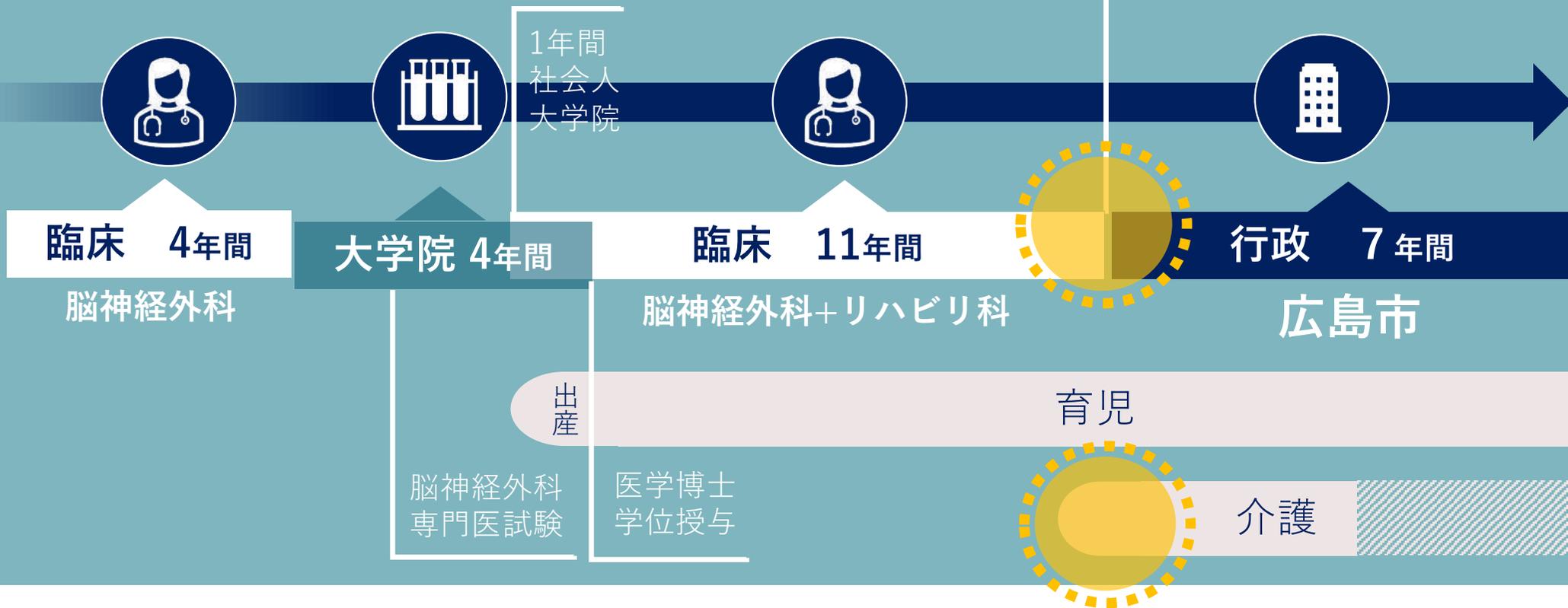
03

専門医取得で得た
コンピテンシー

04

コンピテンシーを
「実装」する

01 公衆衛生医師を選んだ理由



- ✓ 育児・介護を経験したタイミングで、公衆衛生医師の存在を知った
- ✓ 人の生活や環境をデザインする仕事を望んでいた

私は、臨床医として非常に忙しく過ごしてきたが



自分のこと

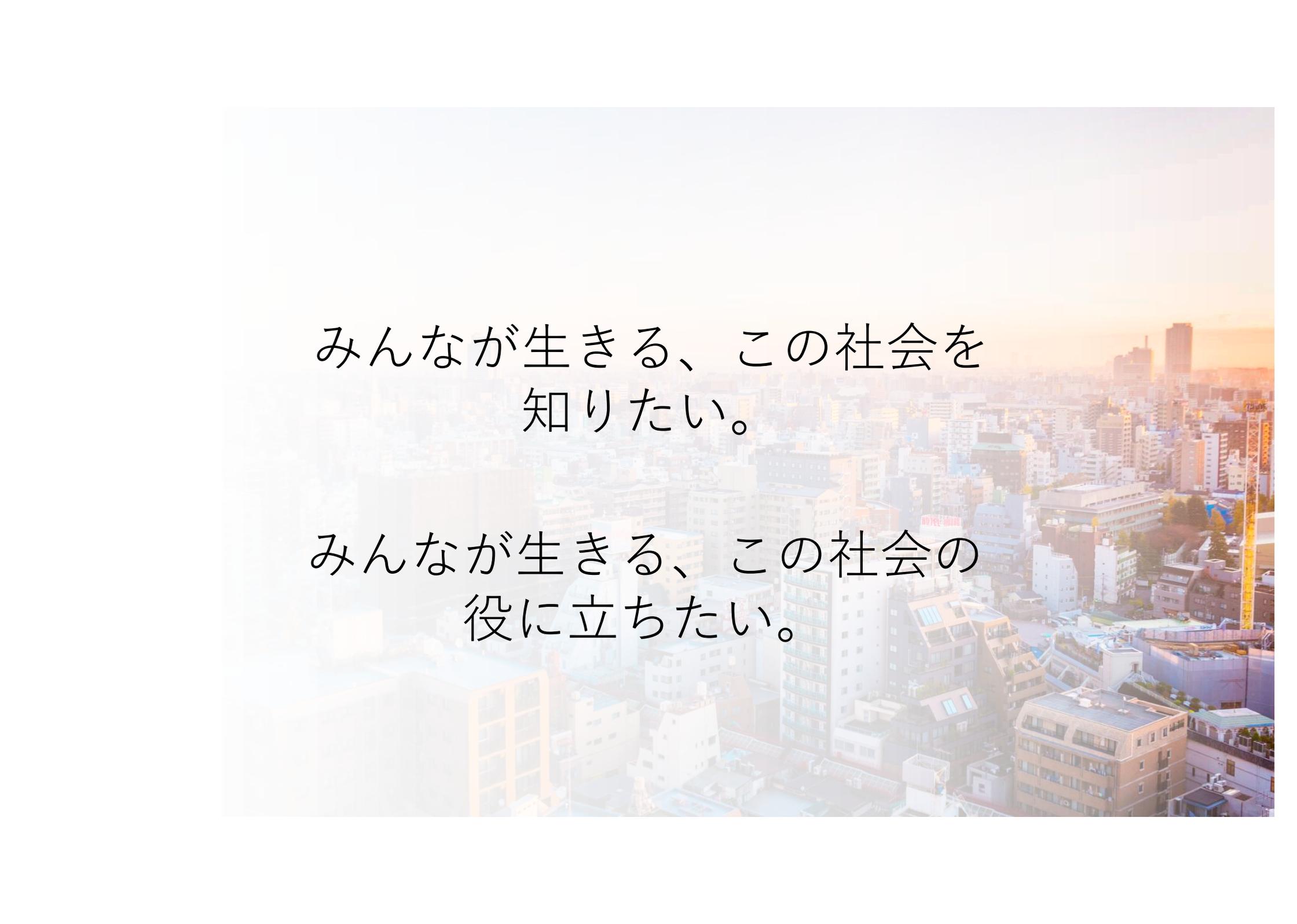


家族のこと



社会のこと

あまり良く知らないことに気づいた。

An aerial photograph of a dense urban landscape, likely Tokyo, taken during the golden hour of sunset. The sky is a warm, hazy orange, and the city's buildings are silhouetted against the light. The text is overlaid on the left side of the image.

みんなが生きる、この社会を
知りたい。

みんなが生きる、この社会の
役に立ちたい。

公衆衛生医師としての7年間



広島県・広島市・ 広島大学合同事業

分野や業務をまたぐ複合的
な学習計画



広く多彩な視点
新しい人間関係の形成

広島大学公衆衛生学 プログラム（夜間）

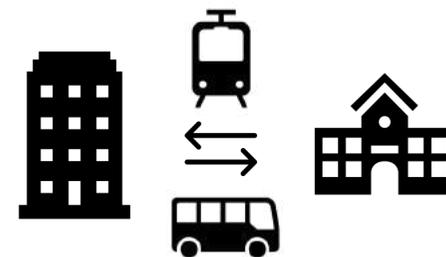
授業履修、研究、論文執筆
を経て、1年間でMPH取得



科学的根拠を元に政策
立案できる医師

職場⇔研修施設の アクセシビリティ

研修施設は勤務先から広島
市内及びその近郊に集結



知識の鮮度の保持
研修の継続性・拡張性

The“ひろしまプログラム” 県・市・大学協働研修

- ✓ 平成30年7月豪雨における避難所・被災者支援（広島市） ➡ 現場対応
- ✓ 避難所の環境改善に向けた調査研究（広島県・広島大学） ➡ 疫学研究

研修1年目

研修2年目

研修3年目



- ・ 避難所・避難者管理
- ・ 区・医師会との防災計画見直し
- ・ DHEAT養成講座（徳島市）



65避難所・928枚
日報の調査分析

調査項目	調査結果
避難所数	65
調査枚数	928
調査期間	平成30年7月豪雨後
調査対象	広島県内
調査方法	現場調査・アンケート
調査結果	避難所の環境改善に向けた調査研究

平成31年度 修士論文
平成30年7月豪雨における
広島県避難所健康相談調査報告からみた
避難所での健康管理対策への一考察



03

専門医習得で得たコンピテンシー

分析評価能力

課題解決能力

能力

コミュニケーション

構築能力

パートナーシップ

教育・指導能力

還元能力

研究推進と成果の

倫理的行動能力

基礎的な臨床能力

04

コンピテンシーを「実装」する

課題解決能力・コミュニケーション能力 を活かす

県・市・区
各関連部局

地区医師会

教育機関

全国保健所長会
事業班



適切・迅速な情報共有／協働体制の構築

04

コンピテンシーを「実装」する

パートナーシップ構築能力、教育・指導能力を増やす



他の専攻医・
専門医らと



様々な関連部局・
団体と



県内外の
他自治体等と

個の知識や経験を増やす >>> 関わる全員が成長

Take Home Message

社会の力となる

新たな自分に
出会う

人生が
豊かになる

自分の成長が、自己効力感の保証。

Take Home Message

社会の力となる

新たな自分に
出会う

人生が
豊かになる

自分の成長が、自己効力感の保証。